

今起選舉を行なうための任務を担つくり

トガ。

ヤ七箇市大自選大選等は、次の四つの任務を担つて居る。そのヤ一は、渾派
固運動への傾向と対抗し、全員加盟制自選公の統一組織を守り抜くこと。ヤ
二は、メナムー、中銀、安保といつて今日の田舎的政治問題についてこの強固
な意志統一ミナムーと、六自行動を自下にオ一步として、〇〇年安保斗争へ前
往し得る自選公道導部を形成すること。ヤ三は、「民青全連」、「二派全
連連」、「革マル全連連」といの学生戦線の渾派的分断を既に、自選公共同行
動→自選公共斗→单一主連への第一への大道に切り拓き、第一の筋と
しての市大自選公を更に強固に行な固めること。ヤ四には、大学生生活の全面に
渡つて革新を遂行し、学生の自選權の広大を基礎にして総合性園建設、貞
一言でいえば、今選舉の意義と任務とは、市大學生運動の戦斗的任務と編
理の筋と更に前進する跳躍度をつくに出すこと、であった。

一言でいえば、今選舉の意義と任務とは、市大學生運動の戦斗的任務と編
理の筋と更に前進する跳躍度をつくに出すこと、であった。

選手戦での一つの主論題

65. 『戦線統一と空園・大学自治』

以上の様な任務をもつてヤ七箇市大選等は、次の二つの論題を基軸に政治論
争は展開されて。ヤ一は、65自選公共同行動への道は、学生戦線統一につけて
である。王知識人アーレと、市大、廿命、神大三自選公アーレによつて
印り出されつつあるの65自選公共同行動への道は、学生戦線統一人の初期討
一歩として、学生の圧徴的立場のもとに確認されてゐる。民青を中心とする
全學連統一派のみばかりではなくセクト的苗古を行つて、乙にそれが彼らも「65
反対」のセクト主義を積極的に主張し得ない範囲気付くなりだしてゐてい
る。これは今選舉の重要な成果として認識しておらぬけ山ばぢりだる。
ヤニの立場は、總合的學園建設の課題である。全連統一派の諸々の政策
列ではなく、學園斗争における中心環の設定を基軸に具体的、科學的立場策
定系が要請されており、その点は任意的政策を明示しないには、二つ目まで自
治公選の歴史を負つてから給一會議主流派の立場であった。要に重要な点は、
學革新へ結びつくものとしてこの教育・學園斗争として斗わなければならぬ。す
べての権力斗争の当面する環として、學生三要素の冒徴して総合的學生公館の
建設とのマローカンは今選舉の中心意を第一を深められときて居る。

民学同は統一會議(主流派)を支持する!

一部同盟附落ターレーの「民青」同派

昨日暮れに付て、(アラヘミー)

一部同盟脱落ターナーによる

(民革同盟) 暫休令について

今迄等において、われ民革々義革王同盟は「脱落した一部ターナーへ志賀派」が「統一公議」民革同盟」、「名乗り立候補している」と多少なりぬる反に混亂を生じてゐる。我々は、今選舉は改造論争ではなく、「名稱」に關する不毛の論争にさせることはならないと考え、今日まで一部同盟藩タルーノによる「民革同盟」の暫休令にしておることある。民革同盟市大支部り、副盟長論まで一過したので、ここに事実を明らかにする。

民革同盟市大支部り、副盟長

結成以来、同盟の趣向支部として、用意の委員会につけていた。日獨斗争以降の日本民主主義斗

争の駆頭の田代辰次郎を中心とする若干の右翼自由思想主

義的傾向の系王にも、やうやく、市大支部は日獨斗争への二度に渡るスマーライキ、66年10月21日と、太陽戦斗の斗争

いをつくりだすことによつて、岡山、京都、東京の同志達

と共に民主々義革主同盟の戰斗性を示りつけた。

だか同轍の一派行運三河原ターナーは、日本共産党へ

代々不ふに民革への復帰へと奮闘する、志賀派と結びつ

き、一部教官の「応援」をも、タリ、われ民革々義革王同

盟に日和見主義的政治路線と「民青復讐」の組織路線を押しつけようとした。この策動は王國の左側的同盟の正

当な拒否をもつて音をつい、同盟内で孤立してしまった時

同轍の正式な公議に集団で反対した。ついには少數部分

を集めて組織分裂を強行したのである。この過程で更に残

念なことは、民革同の戦斗的伝統を守り、一貫して石黒田

和見主義的傾向の色相に奢めて王國、市大支部の内訌ながら

志賀派及び一部駆逐の強引な行入によつて、同盟から脱落

するターナーがあらめたことである。

彼らは二小まで共に創り上げに戦斗的伝統を放棄してい

つたばかり、政治活動家の良心を捨てて、「民革同盟派」を解散するに至ったのである。わが副盟長は、市大支

生運動の戦斗的伝統と統一者の役割を堅持する、自治公運

新の結合公運運動を推進する統一公議（主張派）と助

國支持する、市大自治公運動の新らたら發展を目指に斗争

である。

一部脱落ターナーは「統一公議」（民革同盟）と名乗る
ことによつて、自治公運動ターナーと政治同盟との混合
という致命的誤りを犯している。我々は伝統ある「統一

会議」の暫休令については、少しここに向むなりとしても、
我々同盟を一貫して守つておいた自治公運動ターナーと政
治同盟の後別へこれは全般抑制自治公の統一の基點であ
る)とめられれば看過する」とは出来ない。政治同盟は
いつもそもそも一定の思想的同質性と、政治路線での一
致に基づく結集体であり、自治公選舉に於る政治ターナ
ヌは自治公運動での一致にやとづくものである。一部政
治同盟の後別は「潮流間運動の表現をナリにばら
ハターノが口では「潮流間運動の表現をナリにばら
ム」(もともと潮流を知つてハラガケで「潮流間
のカ、そんともども山を知つてハラガケで「潮流間
運動の表現をし語つているのだろウタ。

市大入学生活運動の戦斗的伝統
を堅持し、終身公的自治公運動
の推進のため、統一公議へ
主流派へナシ付を。

今選舉は官選時に組つておる住務ならと、各自治公運動タ
ーナーの政策を対比する時、初期自治公運動部は統一公議
全派派へをいいことない、我々は考えさ。

世界人民の不屈の斗い、世界史の転回に巨大な刻印を
日々刻みつけつつある現在、ナチム戦争の人民的解決へ
の追電と70年安保への先制的攻撃といふ正反対重合をもつ
た課題を全軍に担いつつ、且つ大昔生活の全面にわたる住
務を遂行する自治公運動の構築へ——市大學生運動の戦斗
的伝統と、統一戦的任務を堅持し、終身的自治公運動を更
に強力にあしらひよ。

全学友の統一公議へ主流派へ
への圧倒的支持を期待する。